

日本からタイへの食品の輸出事情

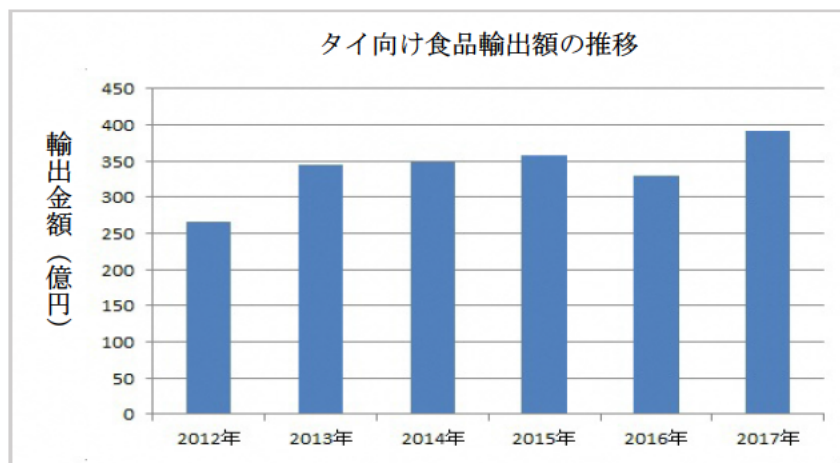
サワディーカップ。岡山県ビジネスサポートデスク担当の辻です。
10月号のレポートでタイにおける日本食市場についてお伝えしましたが、今月はタイ国内最大の総合食品見本市「THAIFEX 2019」の様子と、日本からタイへの食品の輸出事情についてお伝えします。

今回で16回目となるTHAIFEX 2019は、東南アジア最大規模の国際総合食品見本市で、今年は42カ国から2,700を超える出展企業・団体が集まり、開催期間中に6万人以上のバイヤーが会場を訪れました。日本食ブームが続くタイの外食市場を反映するように、日本食向け食材業者のブースも数多く出展されていました。JETROが開設したジャパンパビリオンには72の企業・団体が出品し、タイ市場への販路拡大をめざして日本産食品の品質の高さや魅力をアピールしました。出品された商品も日本酒、和牛、日本米、野菜、お茶、蕎麦、魚、さつまいもなどなど、バラエティに富んだ商品が並び、訪れたバイヤーと商談を交わしていました。



ジャパンパビリオン

タイは、日本からの農林水産・食品の輸出先国ではASEAN諸国第2位、世界第7位に位置付けられます。2017年の日本からの輸出額は約391億円(対前年比18.7%増)、さらにタイ国内の日本食レストラン数は2018年の時点で3,000店を超えており、2019年内には3,500店舗を超えるものとみられています。輸出額が伸びている要因のひとつは、タイの地方都市の日本食レストランの普及です。数年前までは日本食レストランは日本人が多く住むバンコクに集中し、地方都市ではそれほど多くはありませんでしたが、近年ではバンコクで市場が成熟して店舗数の増加率が鈍化したのとは反対に、地方での日本食レストラン数が飛躍的に増えており、今後もさらなる需要が期待される成長市場といえるでしょう。



また、右の表は2017年に日本からタイ向けに輸出された農林水産物・食品輸出の上位10品目と輸出額です。1位の豚の皮は食品としてではなく、靴やかばんなどに使用されるもので、中国での環境規制の強化を受けて、今まで中国にあった革製品の生産拠点をタイに移転する傾向が増え、2017年には輸出総額の約7割をタイ向けが占めたほど増えています。10品目中4品目に魚が入っていますが、注目したいのは7位の牛肉です。以前はタイでは信仰上の理由や質のいい牛肉が生産されていないなどの理由から牛肉はあまり食べられていませんでした。しかし、2000年ごろから続く日本食ブームの中でしゃぶしゃぶ・すき焼きの食べ放題のお店が繁盛したり、大手牛丼チェーンが出展したり、最近ではステーキハウスも流行するほど牛肉を食べる食文化が広がりを見せています。日本からタイへの牛肉の輸出は2011年に解禁、2016年に月齢制限を撤廃されるなど規制緩和が進んでおり、2015年と2017年の比較では約50%増と上昇傾向を続けています。

タイ向け農林水産物・食品輸出上位 10 品目

順位	品目	金額
1	豚の皮	80 億円
2	かつお・まぐろ類	66 億円
3	さば	27 億円
4	いわし	18 億円
5	ソース混合調味料	15 億円
6	さけ・ます	13 億円
7	牛肉	10 億円
8	牛・馬の皮	7 億円
9	アルコール飲料	6 億円
10	配合調製飼料	6 億円

出典：農林水産省調査

その一方で、タイ政府はトランス脂肪酸の主原料となる部分水素添加油脂及び部分水素添加油脂を用いた食品を製造・輸入・販売することを禁止する法令を公布し、タイ向け青果物の選別及び梱包工程を行う施設について基準を設け、証明書の取得を義務付けるなど、規制強化の動きもあり、日本産食品の輸出にあたって、新たな規制等に留意することが重要になっています。

今後もタイの日本食市場は成長が見込まれています。展示会への出展や現地での市場調査などご希望の方は、ぜひ当サポートデスクへご相談ください。

タイ経済指標

項目	単位	2016	2017	2018	2019
GDP 成長率	前年比ベ (%)	3.4	4.0	4.1	2.6 (1~6 月)
人口*	千人	67,506	67,697	67,869	67,982 (8 月)
労働者の数*	千人	37,792	37,716	38,353	37,722 (9 月)
失業率**	%	0.99	1.18	1.06	0.99 (9 月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	300	310	325	325 (10 月)
チョンブリー		300	308	330	330 (10 月)
アユタヤー		300	308	320	320 (10 月)
ラヨーン		300	308	330	330 (10 月)
賃金：全国製造業の平均	バーツ	12,402	12,473	12,831	13,182(9 月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	0.19	0.67	1.06	0.81 (9 月)
中央銀行政策金利*	%	1.50	1.50	1.75	1.50 (10 月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.47	0.47 (9 月)
ローン金利(MLR) **	%	6.47	6.35	6.32	6.32 (9 月)
SET 指数*	1975 年 : 100	1,542.9	1,753.71	1,563.8	1601.49 (10 月)
バーツ/100 円**	バーツ	32.53	30.27	29.26	28.63 (10 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	35.30	33.9	32.31	31.21 (10 月)
円/米ドル**	円	108.8	112.2	110.4	109 (9 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	765,593	869,763	1,041,311	794,699 (9 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,688	1,227	1,469	717 (1~6 月)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	861.3	625.08	549.48	191.79 (1~6 月)

*期末、**平均

[出典：NESDB, BOT, MOL, SET, BOI]

岡山県タイビジネスサポートデスク *Asia Alliance Partner Co., Ltd.*

所在地：1 Glas Haus Building, 12th Floor and Room 502, 5th Floor, Soi sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand

担 当：辻 三朗 (つじ さぶろう)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県から [Asia Alliance Partner Co., Ltd.](#) に業務を委託）。ご利用に当たっては、「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。